

第 13 回 標準処方研究フォーラム

～ 連続生産における処方、添加剤の影響 ～

2020 年度に開催予定をしていました第 13 回標準処方研究フォーラムは、COVID-19 の感染拡大のため本年度に延期をしていました。その間、発表内容に関しては、連続生産の立ち合い実験も進めて、以下に示す内容で Web による開催することとしました。本年度になり、国内での連続生産に関する申請も承認され、ますますその注目度は上がっています。立会実験では、2019 年度の連続生産のスケール（処理量）から、さらに、処方そのものに検討内容を広げ、データを収集しました。Web 開催ではありますが、例年通り要旨集は発行し、できるだけ例年通りの内容を盛り込んでおります。パネル展示に関しても形を変えて実施します。奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

と き	令和 3 年 12 月 2 日(木)
	講演会 10:00～ 16:40
と ころ	講演会:Zoom webinar
主 催	(一社)粉体工学会・製剤と粒子設計部会
共 催	(一社)粉体工業技術協会・粒子加工技術分科会
参 加 費	講演会 <u>主催・共催学協会員</u>
	会社関係 ￥8,000
	大学・公立研究機関関係 ￥5,000
	学生 ￥2,000
	<u>非会員</u> ￥15,000

振 込 先 金融機関 十六銀行黒野支店
口座名 せいざいとりゅうしせつけいぶかい ひょうじゆんしよほうふ おーらむ たいひょう たけうちひろふみ 製剤と粒子設計部会 標準処方フォーラム 代表 竹内洋文
口座番号 (普) 1557481
※ 11 月 22 日(月)までに、お振込みください。それ以降になる場合は事務局までご連絡お願いいたします。

申 込 方 法 ホームページよりお申し込みください。
<http://www.ppd-gifu.com/>

申 込 締 切 令和 3 年 11 月 18 日(木)

問 合 せ 先 〒502-8585 岐阜市三田洞東 3-6-1
岐阜薬科大学先進製薬プロセス工学研究室内
粉体工学会製剤と粒子設計部会事務局 松井智代
e-mail matsui-to@gifu-pu.ac.jp
☎ 058-237-8572

－プログラム－

- 10:00～10:10 開会の挨拶 竹内 洋文 (製剤と粒子設計部会部会長、岐阜薬科大学)
- 10:10～10:50 基調講演
「標準処方研究における連続造粒へのあゆみ」 谷野 忠嗣 (シオノギファーマ)
- 11:00～11:30 2020 年度 立会実験概要
「マニトールの連続造粒と各種添加剤」 山田 昌樹 (シミック CMO)
- 11:30～12:20 企業展示・紹介 (音声付き PP データを事務局から配信予定 ※形式変更の可能性あり)
- 12:20～13:00 昼食
- 13:00～14:40 各社での検討報告 (各演題 30 分。ただし、2) は 40 分)
- 1) 連続造粒における添加剤の影響検討 ～L-HPC による安定運転への寄与～
寺田 敬 (フロイント産業)、星野貴史 (信越化学工業)
 - 2) 連続造粒における添加剤の影響検討 ～ 結晶セルロースと L-HPC の効果について
松井 航 (パウレック)、本田洋介 (旭化成)、市原 駿 (エーザイ)
 - 3) 連続湿式造粒における HPC グレードの影響
浅井直親 (ダルトン)、大芦竜也 (日本曹達)、山田昌樹 (シミック CMO)
- 14:40～15:00 休憩
- 15:00～15:30 4) 菊水製作所での検討 (直打連続生産におけるコプロセス品を使用した含量均一性評価)
伏見伸介 (菊水製作所)、竹内洋文 (岐阜薬大)
- 15:30～16:30 2020 年度実験まとめと総合討論
立会実験纏め 渡邊鉄太郎 (杏林製薬)
- 総合討論 谷野忠嗣 (シオノギファーマ)
- 16:30～16:40 閉会の挨拶 砂田 久一 (名城大学・薬)